



11月の園だより

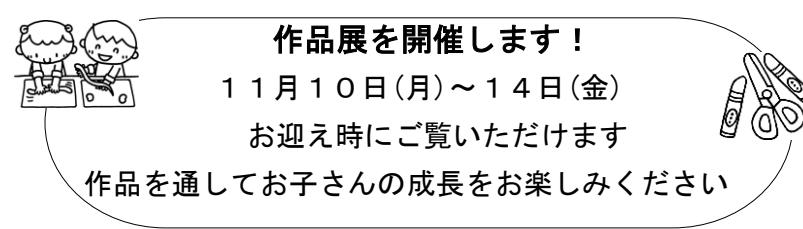
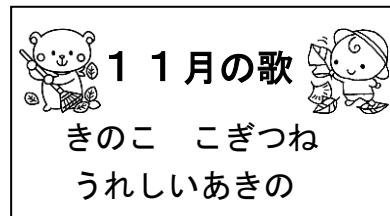
2025年10月31日

ひかり認定こども園 ゆづり保育園

秋が深まり、きれいな落ち葉やどんぐりなどの“自然の落とし物”が子どもたちを楽しませてくれる季節になりました。先日は「運動あそび会」へのご参加をありがとうございました。テーマである“親子のふれあい”そして“ご家族同士のふれあい”を楽しんでいただけたことをとても嬉しく思います。何と言っても子どもたちの嬉しそうな笑顔、普段の保育の中では見せないような幸せそうな表情が印象的でした。今月は「作品展」を予定していますので、是非、お帰りの際にお子さんと一緒にご覧いただきながら、作品を通してお子さんの成長を感じていただきたいと思います。

現在ゆづりでは様々な感染症が流行っています。特に、アデノウィルスからくる流行性角結膜炎は長い期間続いている状態です。目の充血が引いても視力の低下が治らないなどの症状も出ており、大人にも感染が拡大していますので、症状が見られる場合は受診をしていただき、早めのご対処をお願いいたします。

11月の予定	
1日(土)	幼稚園願書受付
6日(木)7日(金)	身体測定
7日(金)	内科検診
10日(月)~14日(金)	作品展
11日(火)	避難訓練
19日(水)	お誕生会
*日程変更の際は事前にお知らせいたします	



クラスより

0歳ひよこ組

つかまり立ちや伝い歩きを楽しんだり、歩くことが上手になったり、保育室の中を様々なスタイルで自由に移動するひよこ組さん。体を動かすことがとても楽しそうな様子が見られました。園庭に出た日はカートに乗ってお散歩をし、落ち葉に触れたり、揺れる木の枝や周りの景色を見ながら秋の自然を満喫しました。また、お砂場では砂を触って感触を楽しむ姿がありました。生活面ではスプーンで食べてみようと挑戦する子、手づかみでダイナミックに食べる子、様々ですが、食べることに興味を持って楽しい食事の時間を過ごしています。急に寒くなって体調不良のお子さんが増えてきましたが、まだ小さなお子さんですので、無理のないように過ごしていきたいと思います。



1歳うさぎ組

子ども同士の関わりが上手になってきたうさぎ組さん。「かして」や「どうぞ」などの言葉を言えるようになり、玩具の貸し借りを子ども同士で行う姿が見られるようになりました。また、食事の面ではご家庭とお子さんの様子を共有することで、スプーンの使い方が上手になってきたお子さんがたくさん増えてきました。保育者が手伝おうとすると“自分でやりたい”という気持ちが強く見られる瞬間があり、成長を感じます。引き続き自分でやりたいという気持ちを大切に、できた時の達成感を一緒に感じられるよう関わっていきたいと思います。



2歳りす組

過ごしやすい気候になり、テラスやお砂場など户外での活動が増え大喜びのりす組さん。「今日はお外に行くよ」と言うと、「やったー！」と一人で帽子や靴をサッと履いて準備万端です！テラスの小窓から幼稚園の運動会の練習を「すごいよ」「かっこいいね」と目をキラキラさせながら見ていることもあります。最近は幼稚園のお兄さんお姉さんに憧れを抱いてきているようです。また、生活面では着脱を丁寧に頑張る姿が見られ、脱いだ服を綺麗に畳んでしまうところまで一人でできるようになってきました。保育者が手伝おうとすると、「自分でできる」と、挑戦する姿に成長を感じます。だんだんと寒さが本格的になってきますので、体調の変化に気をつけていきたいと思います。





ほけんだより

~気をつけよう！秋冬に多い感染症~



インフルエンザ

咳やくしゃみなどによって感染し広がる病気で、毎年多くの感染者が出ます。悪寒、急な発熱、関節痛に続き、下痢、嘔吐、くしゃみ、喉の痛みなどの症状がみられます。放っておくと周りへの感染を広げるだけでなく、合併症の危険も伴うので、インフルエンザの症状かなと思ったら、医療機関で診てもらいましょう。

インフルエンザ脳症インフルエンザの合併症の一つで主に5歳以下の子どもに発症します。発症から比較的早い時期にけいれんを起こす、呼びかけても反応しないなどの意識障害の他に急に怒ったり、怯えたり、うわごとを言うなどの言動が見られることもあります。このような症状が出たらすぐに医療機関を受診してください。

RSウイルス感染症

4～5日の潜伏期間の後、鼻水、咳、発熱などの風邪に似た症状が現れます。通常は1週間前後で回復しますが、なかには肺炎や気管支炎を発症する子もいます。特に心肺の基礎疾患がある子、新生児、6カ月未満の乳児は重症化しやすいと言われています。手洗い、うがい(乳児は水を飲ませる)をしっかり行い予防しましょう。

溶連菌感染症

2～5日の潜伏期間の後、喉の痛みや扁桃腺が腫れる症状から始まり、頭痛、体のだるさ、風邪の症状と一緒に38～39℃の高熱が出ます。発熱から2～3日経つと首や胸、手首、足首に粟粒状の発疹が現れ強いかゆみを伴い、やがて全身に広がります。同時に舌にイチゴ状の小さくて赤いブツブツとした発疹が現れます。予防には手洗い、うがいが基本です。

ロタウイルス

冬から春にかけて大流行する感染性胃腸炎で、激しい嘔吐、白くて水っぽい下痢などの症状が出ます。水分を取りたがらない、おしっこの量が少ない、または半日以上出ていない、目の周りがくぼんでいるなどの症状が出た場合は、すぐに医師にかかりましょう。おもちゃの消毒や、おむつ替えの後の手洗いも、感染予防に効果的です。また、予防のためのワクチンもありますが、接種年齢に制限があるので注意が必要です。



*完治後の登園には「意見書」または「登園届」が必要となります。

解熱後24時間以上経過の他にも、ひどい咳・鼻水・嘔吐・下痢があるときはご自宅で様子をみていただき、病後は体力が回復してからの登園をお願いいたします。ご家族に感染症に罹られた方がいらっしゃる場合も、集団感染予防のためご配慮をお願いいたします。

~園で体調不良が見られた際はお知らせしますので
ご対応をお願いいたします~

以前にあった事例を少しお話させていただきます

酷い咳でとても苦しそうな状態が続いていました。保護者の方には日々お伝えをしていましたが、熱はなく、ご家庭では咳が出ないということで登園され、園でも様子を見ていきました。数日後に状態が悪化し、降園後の夜に緊急入院となりました。ゆづりのお子さんは3歳未満児のお子さんですので、具合が悪いことを伝えるのは困難です。また、急激な悪化もあります。発熱以外にも大人が体調を察知しなければ見過ごされてしまいます。日中お預かりする中で小さな変化も気づくことができるよう心がけてまいりますので、保護者の皆様にもご理解をよろしくお願いいたします。加えて、小さいお子さんの集団の場であり、他のお子さんへの影響があることもご理解いただきますようお願い申し上げます。

*昨年度も載せた内容ですが、重要なことですので今年度も掲載しました。



薄着の習慣は秋からスタートしましょう！



肌寒くなってくると、つい子どもに厚着をさせたくなりますね。でも、厚着が習慣づいてしまうと体温調節がうまくいかない体になりがちです。大人より少し遅いタイミングで、1枚少なくを心がけて！大人が重ね着するとき、子どもには1枚少なく着せる。こうすると、自然と薄着が習慣づけられます。



園での服装についてのお願い



戸外遊びで汚れたり、室内でも絵の具や糊などを使用することもあります。衣服を気にせず活動ができるよう、日頃より園で過ごす衣服は汚れてもよいものをお願いいたします。また、子どもが自分で脱ぎ着ができるよう、柔らかい素材のものが好ましいです。



冬に向けて戸外遊び用のジャンパーとお昼寝用の肌掛けの準備 靴のサイズの確認をお願いします



外遊びのジャンパー(フード付不可)は動きやすい薄手のものをご用意いただき、1週間に園に預かせていただきます。肌掛けは季節に応じたひざ掛け程度のもので調節をお願いします。どちらも、お持ちいただく際はお声掛けいたします。必ず記名をお願いします。戸外での活動が多くなる時期ですので、靴のサイズが合っているか、自分で履きやすいかどうかの確認もお願いいたします。

記名はよく見えるよう、はっきりお書きください。



記名例は、入園の際にお渡しした“しおり”に記載しております。